

月刊海洋 2022 年 3 月号

未開の研究対象「ハゼ」に見る多様性の魅力とその可能性

—マクロからミクロ, 実験系から理論系まで—

1. 福田和也・邊見由美……………
なぜ今ハゼ研究なのか？
—ハゼに見る多様性の魅力と研究モデルとしての可能性—
2. 棕田崇生……………
トビハゼ研究—ハゼの自然史の理解を目指して
3. 國島大河・西丸裕敏・立原一憲・田中良輔・佐藤拓哉……………
ハゼ研究のススメ
—生態からみた多様性とその魅力—
4. 邊見由美……………
ハゼ類による甲殻類の巣穴利用
5. 澤田紘太……………
社会行動としての性表現：ハゼの性転換から考える
6. 山崎曜……………
ハゼ科ヨシノボリ属魚類における平行的な淡水化と種分化
7. 片山侑駿……………
乾燥と闘うトビハゼが獲得した行動多様性
8. 福田和也……………
脳と行動からハゼのここを探る
—ベニハゼ類の配偶システムに注目して—

筆者：1. 広島大・京大, 2. 鳥取大, 3. 和歌山自然博・琉球大・神戸大・京大, 4. 京大, 5. 水産資源研, 6. 国立遺伝研, 7. 岡山大, 8. 広島大